

令和4年度(2022 年度)決算

～ 人生 100 年時代 安心のまちづくり ～

1 決算の概要

(1) 一般会計の収支

歳入 1,192 億 6,524 万円（前年度比 5 億 7,977 万円（0.5%）の増加）

歳出 1,187 億 6,805 万円（前年度比 13 億 2,177 万円（1.1%）の増加）

実質収支 6,854 万円（前年度比 9 億 3,169 万円の減少）

※過年度国・県支出金返還金 14.4 億円（前年度比 12.0 億円の増加）

【主な変動要因】

歳入： 市税 524.7 億円（前年度比＋13.7 億円）

個人市民税所得割・固定資産税（家屋）等の増

歳出： 建設事業 180.7 億円（前年度比＋26.3 億円）

東部調理場新調理棟の整備・公立保育園の建替整備・

市営下原住宅第 2 期整備 等

(2) 一般会計の主な事業

① 子育て支援と教育の充実

・東部調理場新調理棟の整備	26.1 億円
・公立保育園の建替整備（藤山台・高座）	18.1 億円
・私立保育園等整備補助（保育園 2・認定こども園 1）	6.6 億円
・交通児童遊園のリニューアル	2.7 億円
・出産・子育て応援交付金	2.2 億円
・A I 型学習教材小中学校全学年導入	0.9 億円
・中学校登校支援室の全校設置	0.4 億円

② 安全安心なまちづくり

・市営下原住宅第 2 期整備	20.1 億円
・朝宮公園の整備	12.0 億円
・浸水対策の推進（熊野桜佐地区雨水調整池）	10.1 億円
・消防署の移転整備（工事着手）	2.9 億円

③ 新型コロナウイルス感染症対策

・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金	14.4 億円
・新型コロナウイルスワクチン接種	12.2 億円
・子育て世帯臨時特別給付金	9.3 億円
・非課税世帯等臨時特別給付金	7.4 億円
・水道料金の基本料金免除	5.2 億円
・子育て世帯生活支援特別給付金	2.8 億円
・プレミアム付き商品券発行事業補助	1.9 億円
・給食材料費高騰対策	1.3 億円

(3) 企業会計

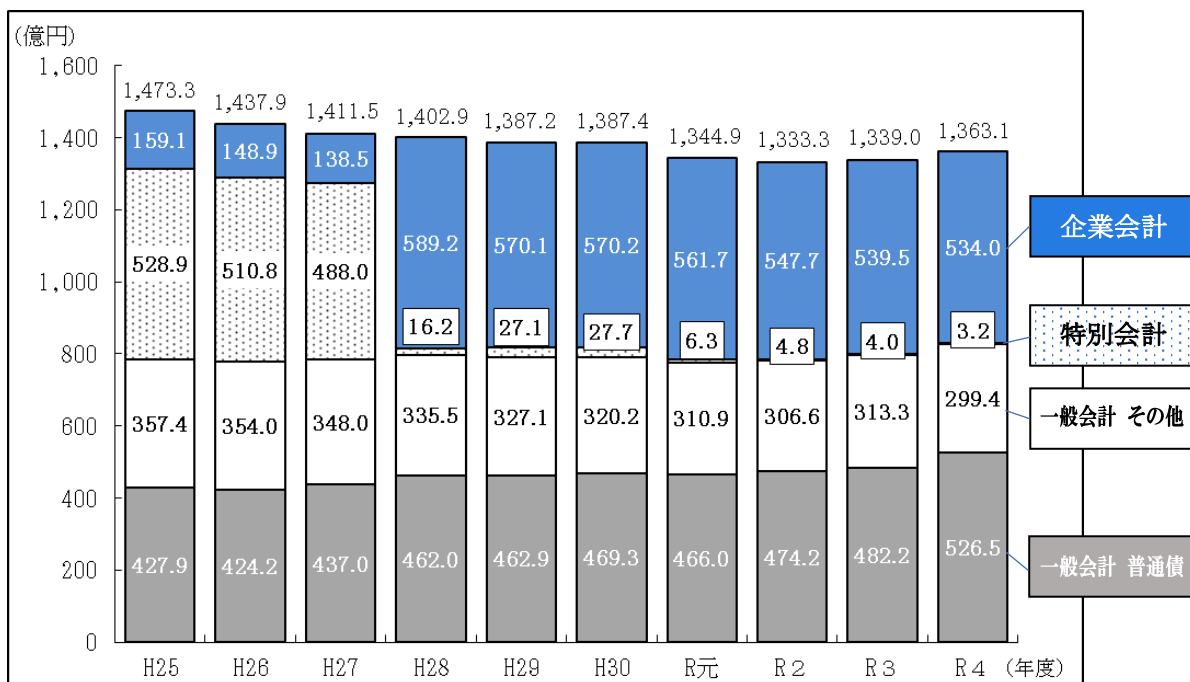
市民病院事業 純利益 9 億 6,595 万円

水道事業 純利益 4 億 1,649 万円

下水道事業 純利益 538 万円 (使用料改定により収益的収支における
基準外繰入の解消 (独立採算確保))

2 財政指標等

(1) 全会計市債残高



※普通債には災害復旧債を含む

※公共下水道事業は、平成 28 年度に特別会計から企業会計に移行

(2) 将来負担比率

